

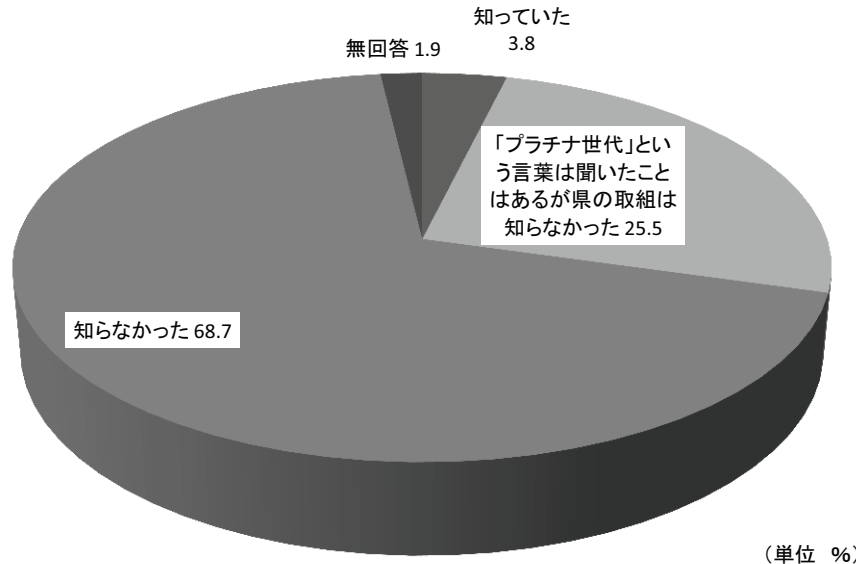
4. 高齢者の社会参画

(1) 「プラチナ世代」の認知度

問10 県では、おおむね55歳以上の方々を、いつまでも輝き続けていただきたいという願いを込めて「プラチナ世代」と呼び、プラチナ世代が社会参画に取り組みやすい環境を整えるため、関係団体と連携・協働してさまざまな取組を実施しています。このことを知っていましたか。あてはまるものを1つだけ選んでください。

知らないが約7割

「プラチナ世代」という言葉を「知らなかった」と回答した割合は68.7%となっている。一方で「知っていた」と回答した割合は3.8%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

すべての生活圏で「プラチナ世代」という言葉を「知らなかった」と回答した割合は6割を超えている。

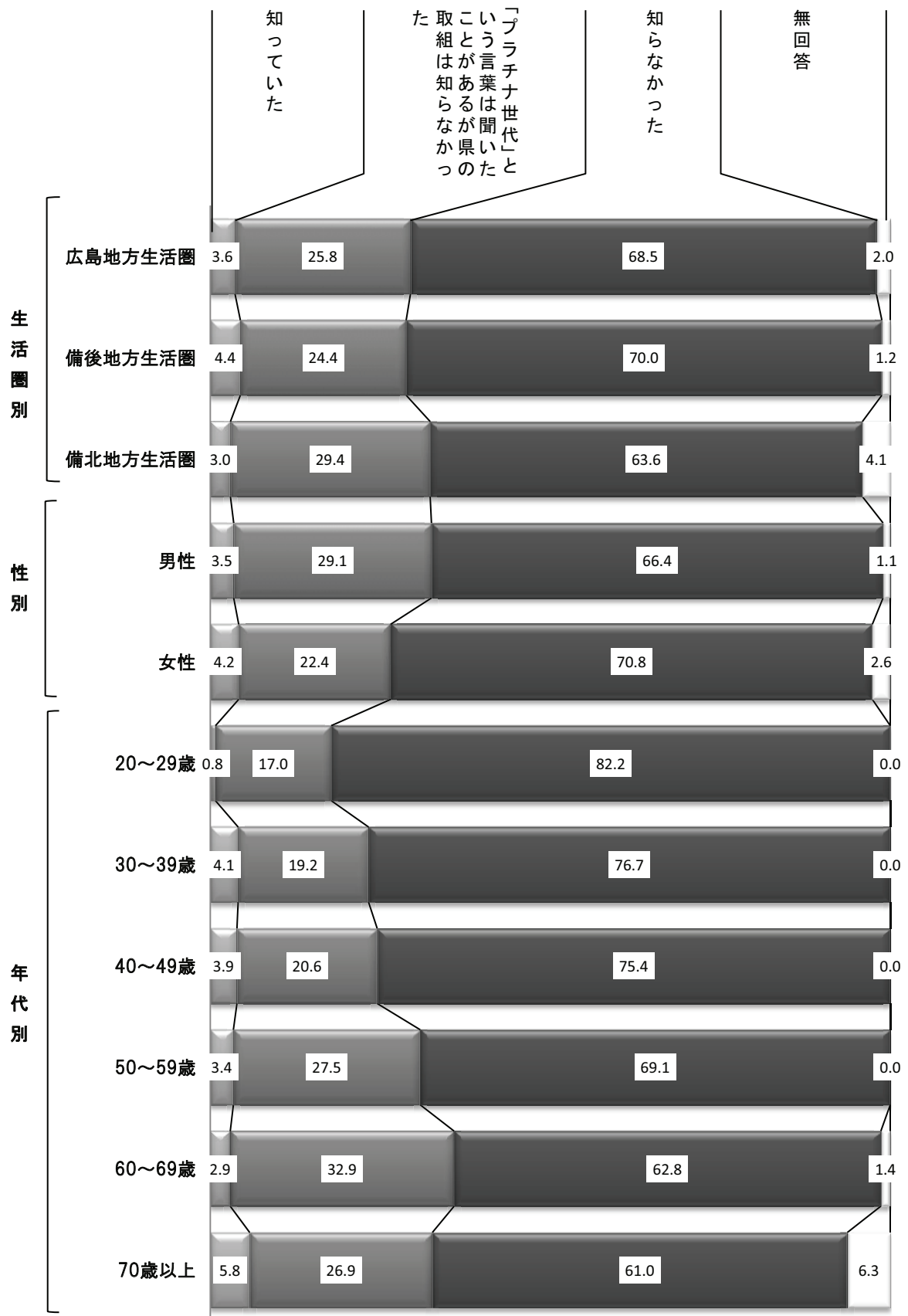
【性別】

「知っていた」と回答した割合は、男性・女性ともほぼ同じ傾向となっている。

【年代別】

「知っていた」と回答した割合は70歳以上が5.8%と最も高くなっている。

「プラチナ世代」の認知度(生活圏, 性, 年代別)



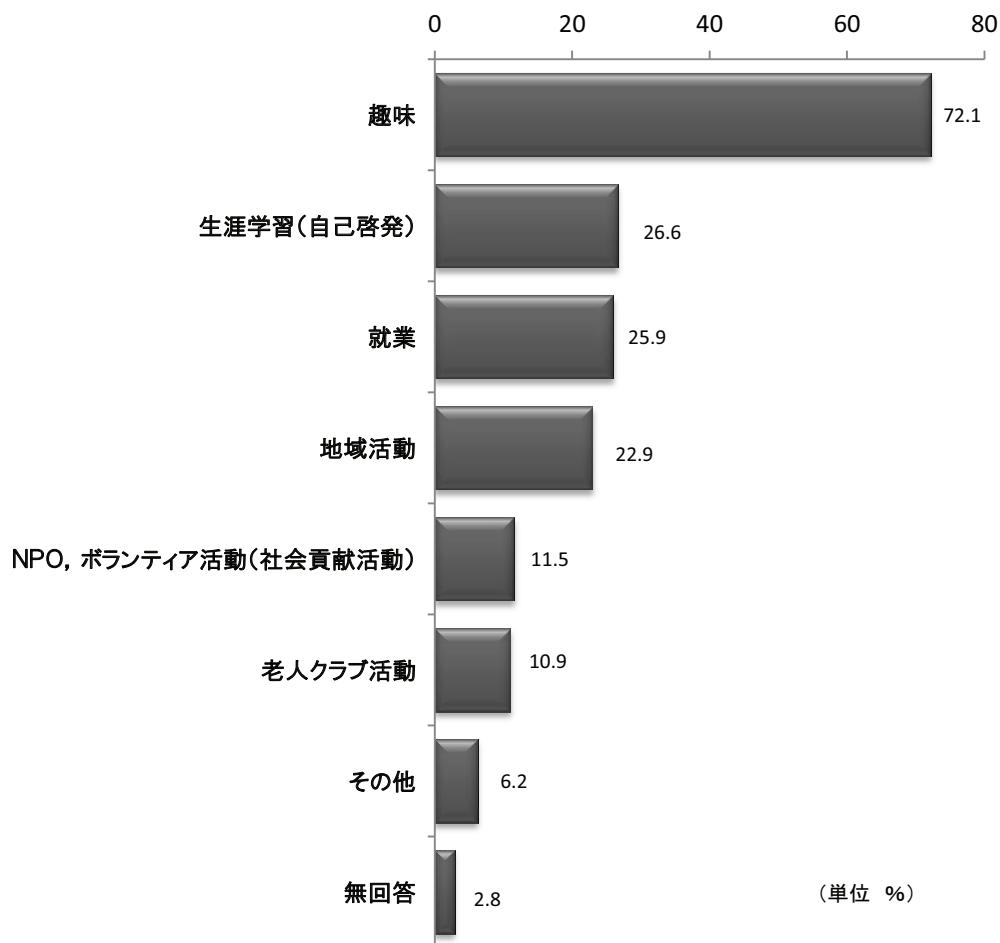
(単位 %)

(2) 高齢期の過ごし方

問11 あなたは、65歳以降、どのようなことをして高齢期を過ごしたいと考えていますか。あてはまるものを3つ以内で選んでください。(M. A.)

趣味が7割を超える

「趣味」と回答した人が、72.1%と最も高い。次いで「生涯学習(自己啓発)」26.6%、「就業」が25.9%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「趣味」は備後生活圏が73.4%と最も高く、広島生活圏が71.7%、備北生活圏では69.9%の順となっている。

【性別】

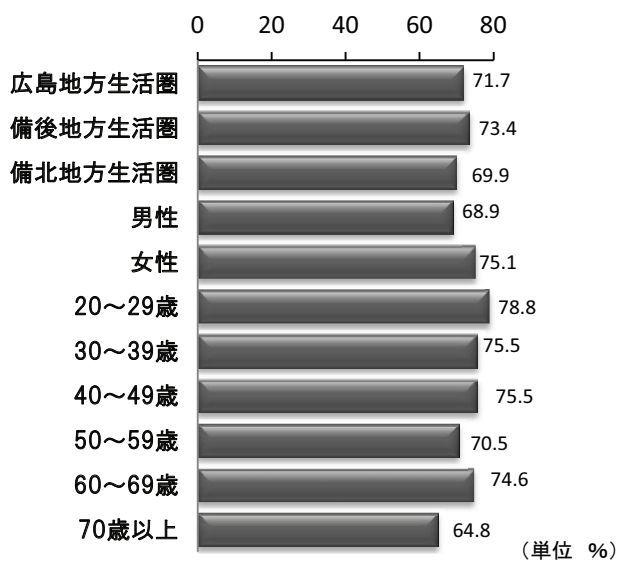
「就業」「地域活動」は、男性が女性を上回っている。

【年代別】

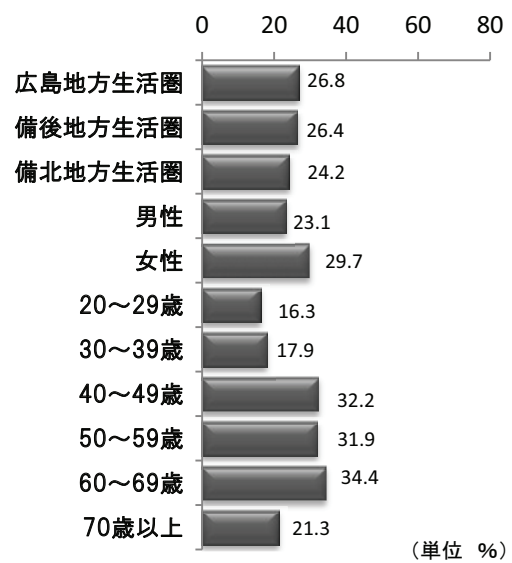
年代の上昇に伴い、就業や生涯学習(自己啓発)など自分の能力を活かす事を意識する傾向がある。

高齢期の過ごし方(生活圏, 性, 年代別)

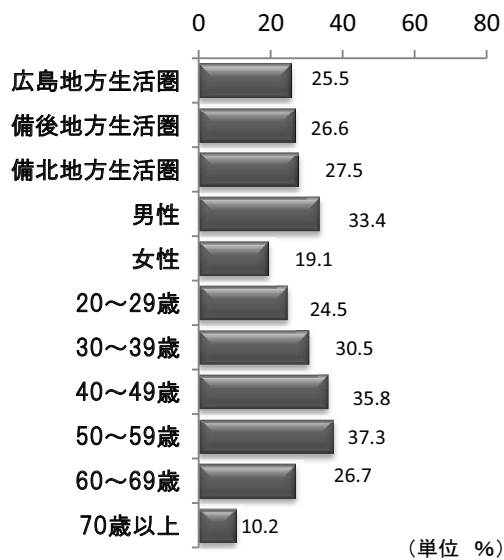
趣味



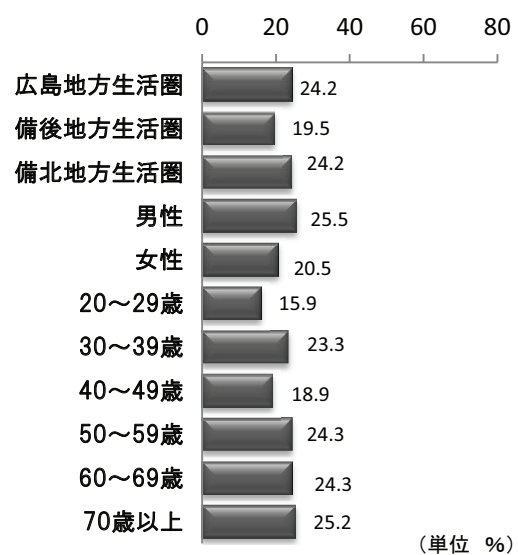
生涯学習(自己啓発)



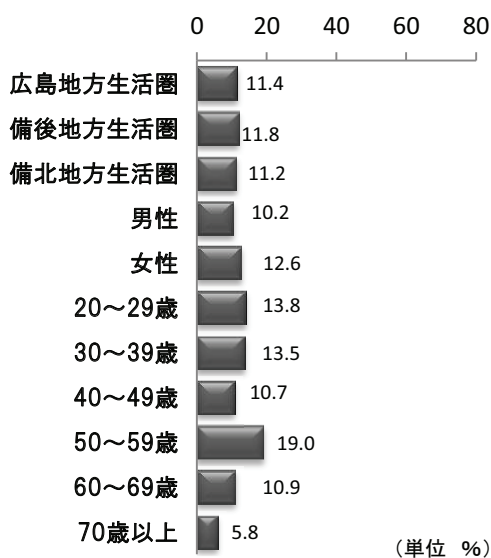
就業



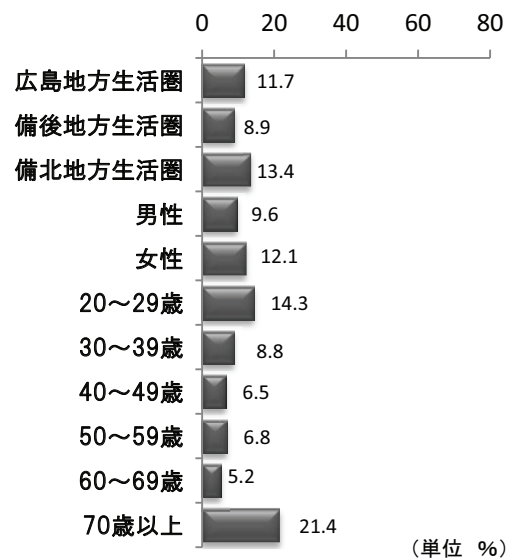
地域活動



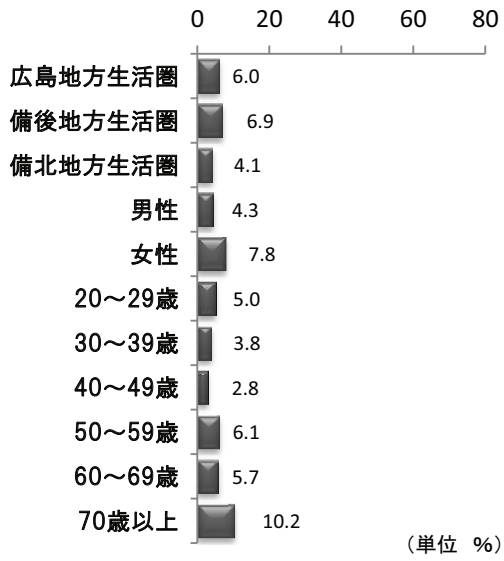
NPO、ボランティア活動(社会貢献活動)



老人クラブ活動



その他



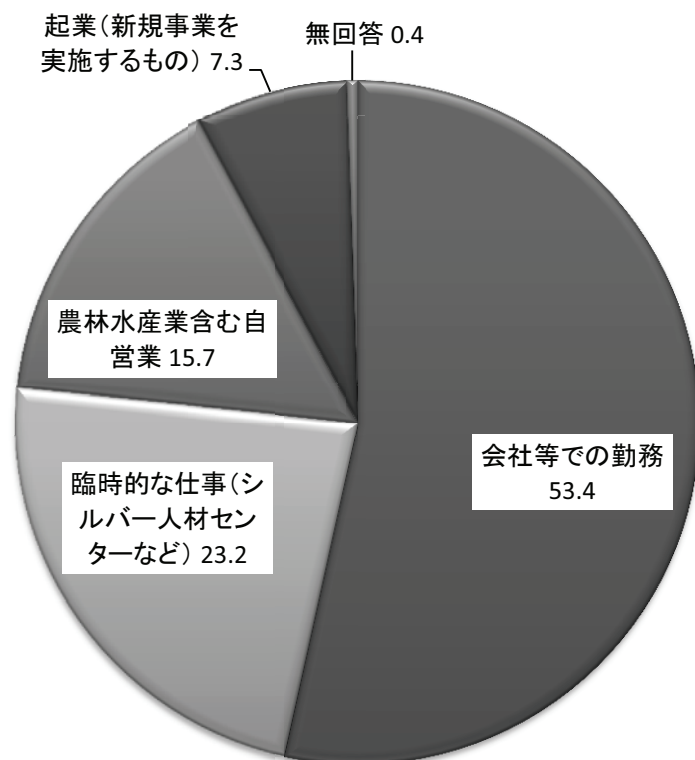
(3) 最も希望する働き方

問12 問11で「就業」を選択された方にお伺いします。(N=1,982)

最も希望する働き方を1つだけ選んでください。

約半数が会社等での勤務がしたい

「会社等での勤務（短時間勤務を含む）」が53.4%と最も高く、「臨時的な仕事（シルバー人材センターなど）」が23.2%、「農林水産業を含む自営業（既存業務を継承するもの）」が15.7%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「会社等での勤務（短時間勤務を含む）」が広島生活圏，備後生活圏では50%を超えているのに対して，備北生活圏では43.2%となっている。

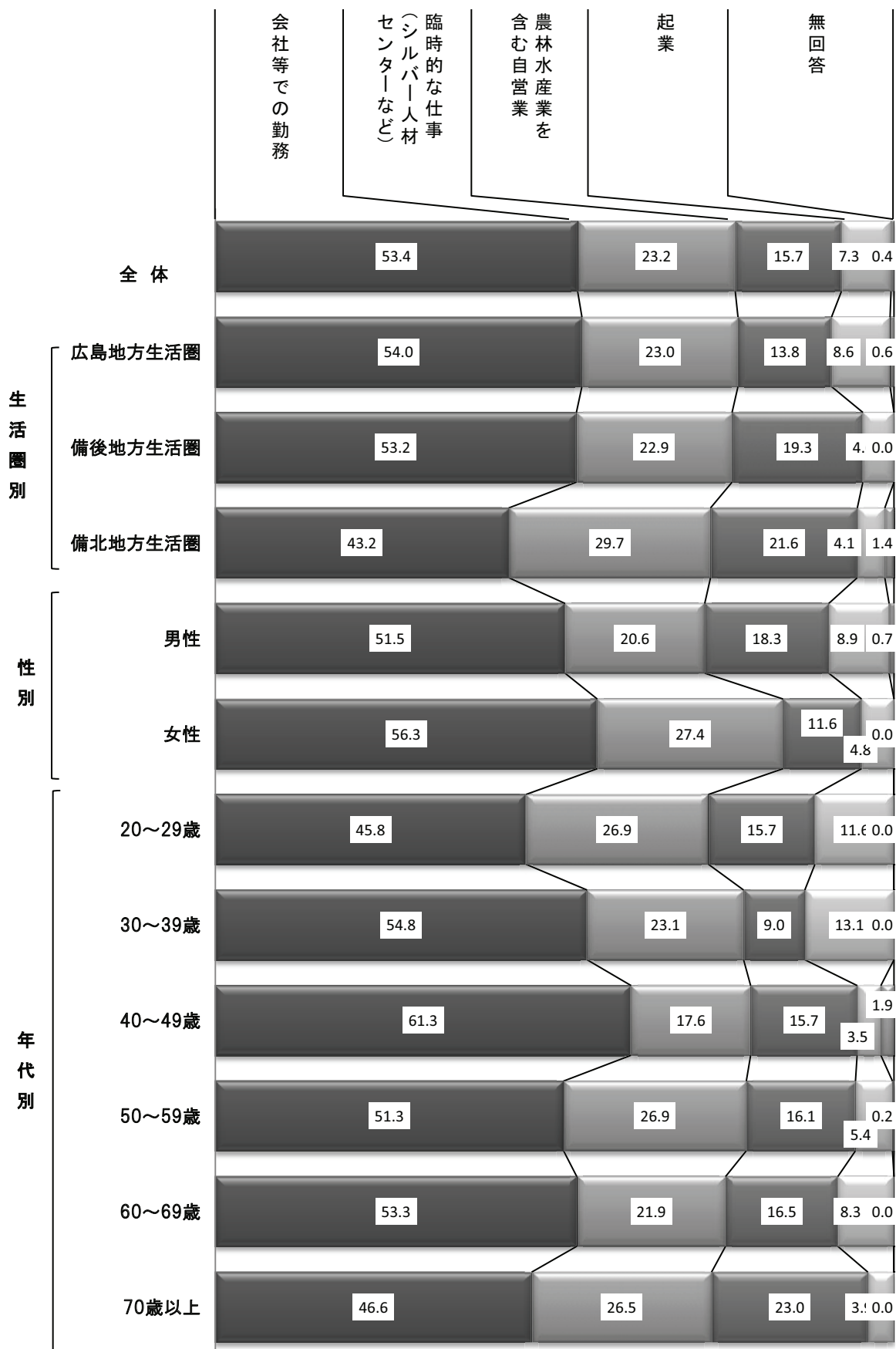
【性別】

「会社等での勤務（短時間勤務を含む）」，「臨時的な仕事」は女性が男性を上回っている。

【年代別】

各年代とも，「会社等での勤務（短時間勤務を含む）」が最も高い。「臨時的な仕事」については，40歳代で17.6%と最も低いのに対して，50歳代では26.9%と最も高い。

最も希望する方(生活圏, 性, 年代別)



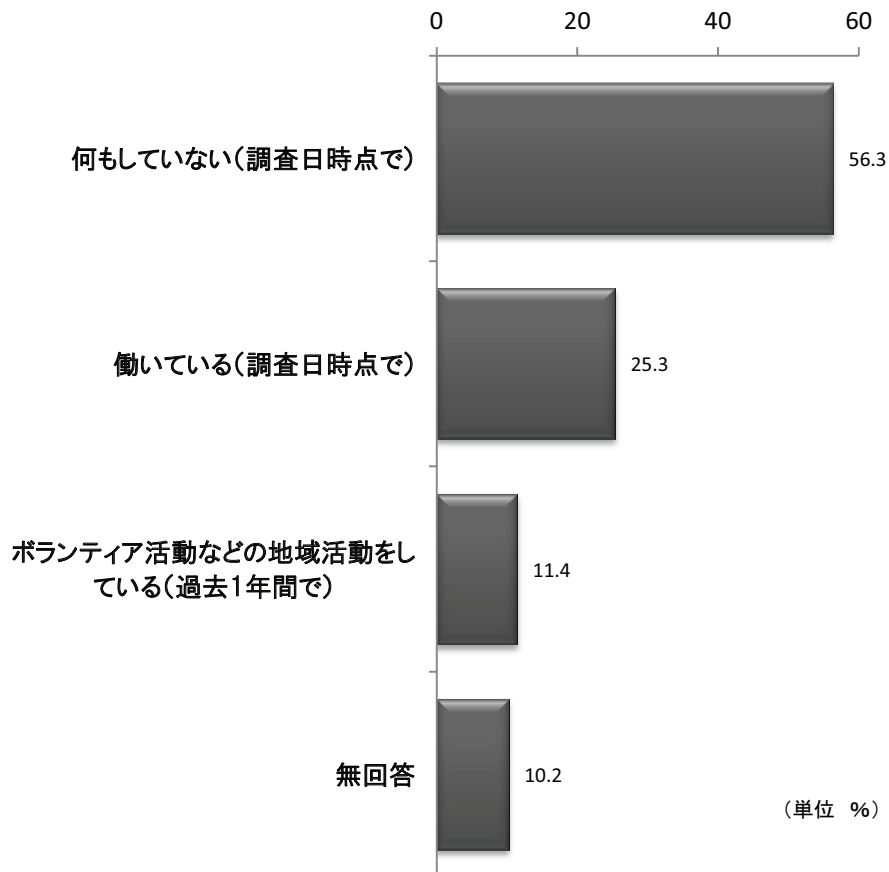
(単位 %)

(4) 高齢期の過ごし方（65歳以上の方）

問13 65歳以上の方にお伺いします。（N=2,756）あなたはどのようなことをして高齢期を過ごしていますか。（複数選択可）

65歳以上の過半数が何もしていない

「働いている（調査日時点で）」が24.5%と全体の1/4であるが、「ボランティア活動などの地域活動をしている（過去1年間で）」は、11.0%と全体の約1割にとどまっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

「何もしていない」は備後生活圏で60.0%と最も高い。「働いている」「地域活動をしている」は備北生活圏で26.4%、14.2%と共に最も高い。

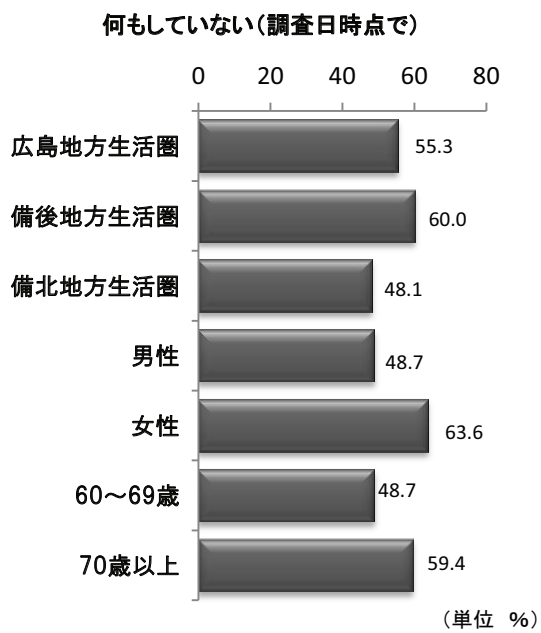
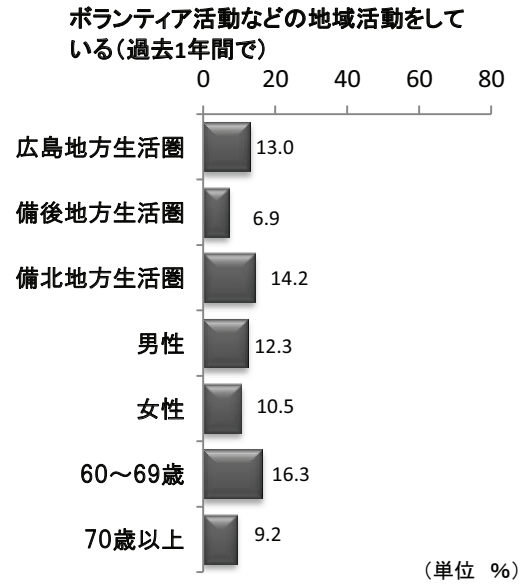
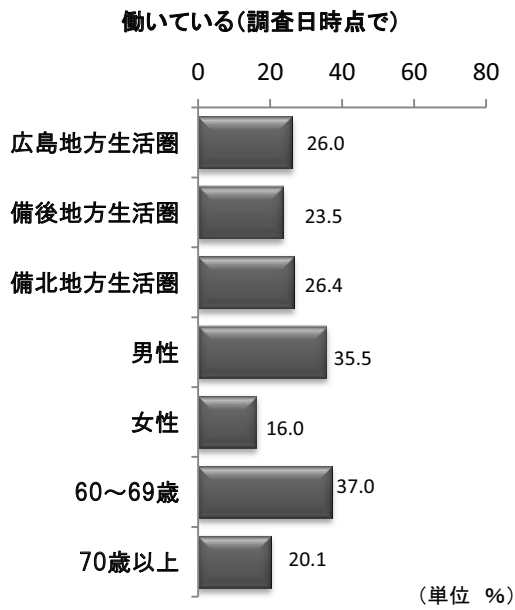
【性別】

女性で「何もしていない」と回答した割合は63.6%となっており、男性の48.7%を上回っている。

【年代別】

70歳以上で「何もしていない」を回答した割合は59.4%となっており、60歳代の48.7%を上回っている。

高齢期の過ごし方(生活圏, 性, 年代別)

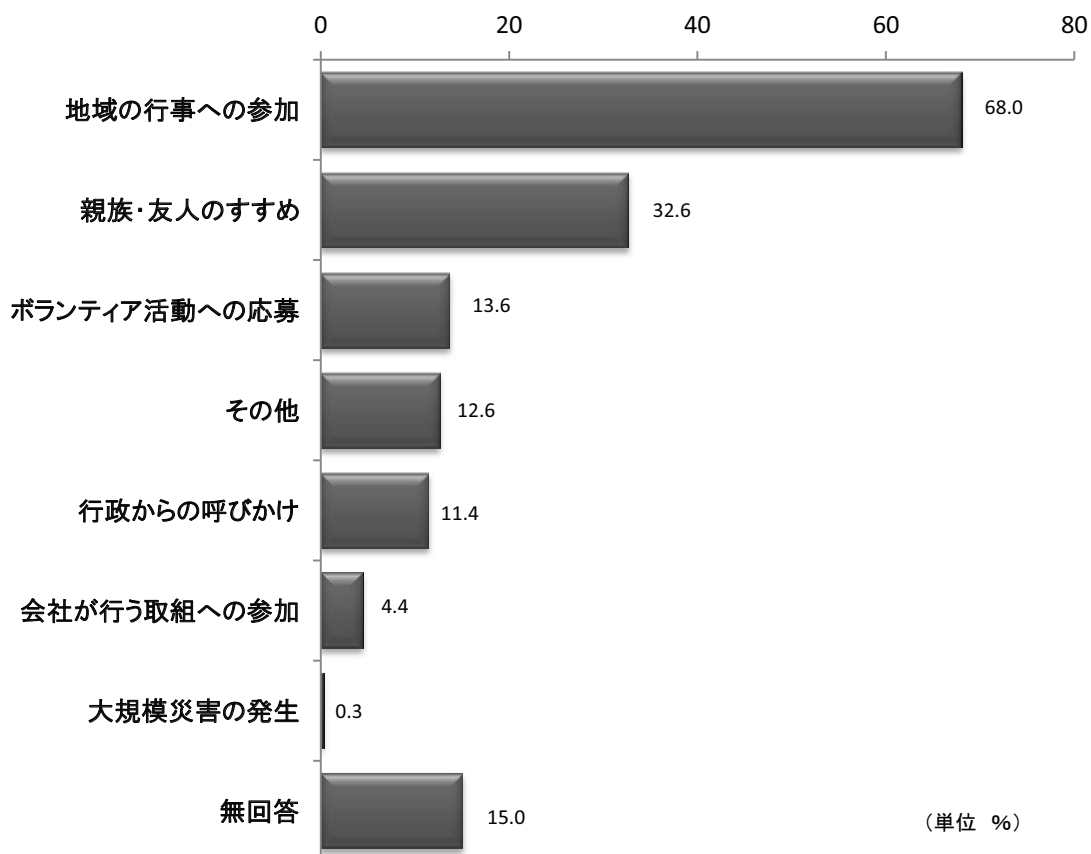


(5) ボランティア活動を行うきっかけ

問14 問13で「ボランティア活動などの地域活動をしている」（過去1年間で）を選択された方にお伺いします。（N=313）あなたが、ボランティア活動などを行うきっかけとなったことはなんですか。3つ以内で選んでください。（M. A.）

地域の行事への参加が約7割

「地域の行事への参加が」68.0%と最も高く、「親族・友人のすすめ」が32.6%となっている。



<属性による比較>

【生活圏別】

備北生活圏では「地域の行事への参加」が100%となっていて、広島生活圏は65.6%となっており、34.4ポイントの差があった。備後生活圏では、「親族・友人のすすめ」と「地域の行事への参加」が共に70.0%と最も高い。

【性別】

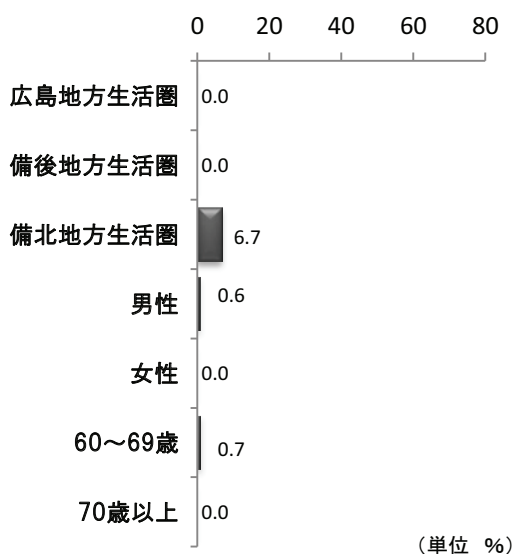
「親族・友人のすすめ」が男性19.4%、女性47.3%となっており27.9ポイントの差がある。

【年代別】

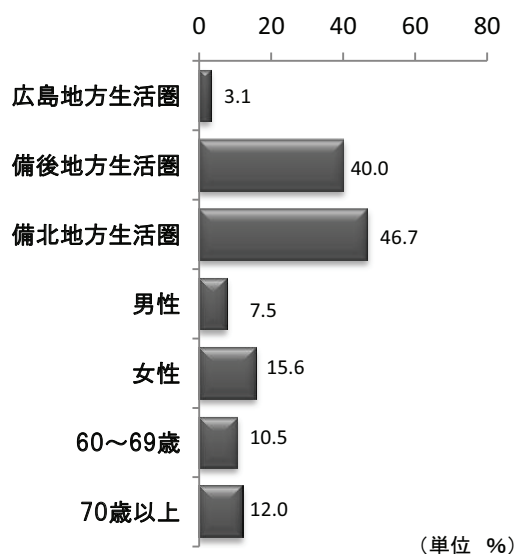
60歳代、70歳以上共に「地域の行事への参加」が高い。

ボランティア活動を行うきっかけ(生活圏, 性, 年代別)

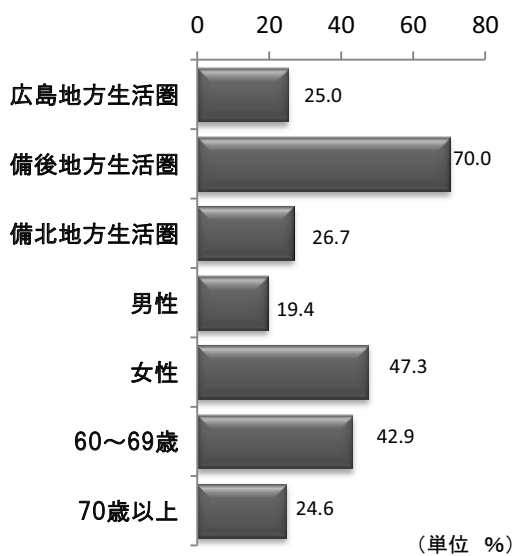
大規模災害の発生



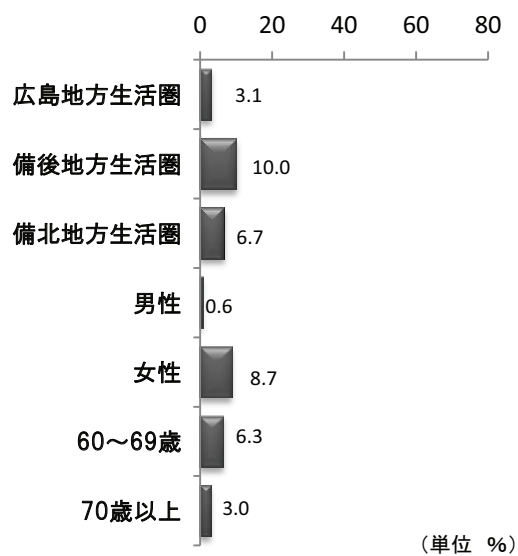
行政からの呼びかけ



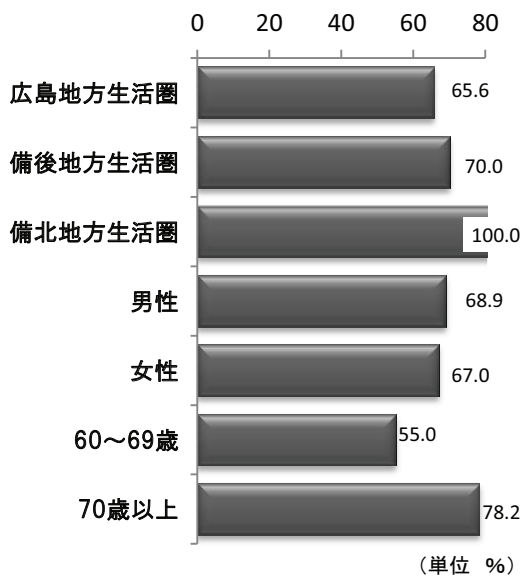
親族・友人のすすめ



会社が行う取組への参加



地域の行事への参加



ボランティア活動への応募

